

2022 年度（第 59 期事業年度）事業計画書

（2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで）

1. 助成事業

(1) 酵素研究助成事業

- ・「酵素の応用研究、および生命科学に関連する研究」を助成対象として研究課題を募集し、選考の上、総額 2,250 万円の助成金を交付する。

(2) 若手研究助成事業

下記の各々の領域で 40 歳以下の若手研究者を助成対象として研究課題を募集し、選考の上、助成金を交付する。

・成人病の病因・病態の解明に関する研究助成(TMFC)	1,500 万円
・Vascular Biology Innovation に関する研究助成(VBIC)	1,500 万円
・全身性炎症疾患の病因・病態の解明に関する研究助成	1,300 万円
・Front Runner of Future Diabetes Research に関する研究助成(FFDR)	1,500 万円

2. 研究発表会の開催

各研究助成事業において研究発表会を開催し、助成した研究課題の成果を報告し、研究者相互の交流を図ることにより、生命科学分野における諸領域の発展を図る。

ただし、「全身性炎症疾患の病因・病態の解明に関する研究助成」については、本年度と同様に研究発表会の開催を見送る。

2021 年度は各研究発表会を Web 開催したが、2022 年度についてもコロナ禍の状況を見ながら、開催方法を検討する。

3. 最近における酵素研究情報の収集

- (1) 最近における内外の斬新な酵素研究情報の動向に関し、調査・収集整理を行う。
- (2) 研究助成を受けた研究のうち、実用化、学会への貢献度等において顕著な実績のある研究成果を調査・整理する。

4. 日本応用酵素協会誌 (No. 57 2022) の刊行

2021 年度の研究助成成果、およびそれらに関連した総説、ならびに最新の酵素情報を掲載する。本誌を当財団ホームページに掲載し、研究成果等の普及を図る。